

四国中央市教育委員会会議録

	<p>平成26年四国中央市教育委員会第12回定例会会議録</p>
日 時	平成26年12月25日（木） 午後 3 時00分～
場 所	四国中央市本庁 5 階第 1 委員会室
委員定数	5 名
出席委員	委員長 守谷 一郎、委員 篠原 祥子、委員 近藤 達之介、委員 鈴木 千明、教育長 野村 勝廣
欠席委員	なし
会議に出席した 公務員の職氏名	教育部長 片岡 俊助、教育総務課長 眞鍋 葵、学校教育課長 原田 尋、学校教育課指導監 石津 善久、生涯学習課長 石川 寿一、文化図書課長 曾我部 和司、国体推進課長 藤田 恭二、教育総務課長補佐 鈴木 一好、少年育成センター所長 石井 和隆、教育総務課副課長 高橋 徹、教育総務課係長 星川 直子、教育総務課 戸田 浩史
傍聴人	なし
会議の概要	<p>開会</p> <p>午後 3 時00分 第12回定例会の開会を宣する。篠原祥子委員及び近藤達之介委員から他の用務により遅れて参加する旨の届出があったが、現時点で出席委員数が過半数を超えており、本会の成立を確認する。</p>
委員長	
委員長	<p>委員長挨拶</p> <p>教育委員会事務局各位におかれては、12月市議会対応等ご苦労であった。先日、川之江北中学校の創立50周年記念式典及びシンポジウムが行われた。私も参加させていただいたが、非常に素晴らしい記念式典であった。今回の記念式典は、地域の様々な方が参画し盛り上げて行く良い事例となったのではないかと思う。記念講演では、講師に川之江北中学校卒業生の京都大学教授奥田哲也氏及び愛媛大学准教授吉田広氏のお二方が招かれ講演が行われた。身近な先輩で子どもたちにとっては非常に参考になったと思う。</p> <p>間もなく年末年始を迎えるが、今年 1 年間を振り返って見ると色々なできごとがあった。国関連では、3月にはS T A P細胞のねつ造・改ざんに当たる研究不正問題、4月には、消費税 8 %への増税、また、元楽天の田中投手がニューヨーク・ヤンキースで大活躍した。5月には、日本維新の会の奮闘が報じられ、7月には、集団的自衛権行使の限定容認が政府見解として出された。政治家の政務活動費をめぐる「号泣会見」も話題となった。また、7月は危険ドラッグによる事故が相次いだ。長崎県佐世保市の高校1年の女子生徒が、同級生を殺害するというショッキングな事件もあった。9月は御嶽山の噴火により、57名の方が亡くなられ、未だ6名の方が行方不明とのことである。テニスの錦織選手が全米オープンで準優勝を成しとげ、テニスブームともなった。10月には、青色L E Dを開発した赤崎教授、天野教授、中村</p>

四国中央市教育委員会会議録

	<p>教授の3氏がノーベル物理学賞を受賞された。11月には、中国漁船による小笠原諸島周辺のサンゴ密漁問題が報じられた。また、高倉健氏、菅原文太氏が亡くなれば反響を呼んだ。12月には、アベノミクスの評価を問う衆議院議員総選挙が行われた。最近では、円安、株高、原油安や天候不順等、色々あった。</p> <p>教育関係では、1月に学習指導要領解説に尖閣諸島及び竹島について我が国の固有の領土であることが明記された。6月には、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律が公布され、来年4月から施行されることとなった。</p> <p>市の関係では、今年市制10周年を迎え記念行事が多々行われた。また、市民文化ホールの入札が不調に終わり、大きく見直されることとなった。今後も新庁舎、学校給食センター、新宮小・中学校の建設等、ハード面の懸案事項も多い。ソフト面でも地域力の再生に取り組まれている中、教育委員会でも公民館のあり方等を含め検討して行かなければならないと思う。</p> <p>教育委員会関連では、1月に第3回新春競書大会及び初めての3会場同時開催となる成人式が行われた。2月には、全国学力・学習状況調査結果の公表に関して協議し、個別公表は実施しないとの方針を決定した。3月には、四国中央市の青少年の心を育てる指標「宇摩の子の誓い」が決定された。4月には、機構改革が行われ人権啓発事業が市長部局に移管され人権教育部分が生涯学習課に統合された。5月には、長津公民館の落成式、学校訪問も開始され7月にかけて行われた。6月には、篠原祥子委員が教育委員に再任され、市長との懇談会も行われた。8月には、書道パフォーマンス甲子園が開催され、出場校の素晴らしい演技で盛り上がり大成功に終わった。国体関係では、2017年の「えひめ国体」に向けて準備委員会が実行委員会へと移行され具体的に進んでいる実感がある。9月には、各運動会、体育祭が晴天の下に行われた。10月には、教育委員及び教育部長の6名で和歌山県広川町へ防災教育を中心とした研修のため訪れた。また、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の本市結果の公表について、全国学力・学習調査における結果の公表と同じ考え方で対応を決定した。11月には、小学校の親善音楽会、各地域で文化活動が行われた。12月は、本市図書館施設及びかわのえ高原ふるさと館、暁雨館の指定管理者にNPO法人紙のまち図書館が指定され、これからの効率的な運営を期待しているところである。</p> <p>色々なことがあったが、全般的に事務局各位の適切な対応により比較的平穩に推移したのではないかと思う。いずれにしても1年間、皆様には大変お世話になり感謝申し上げます。</p> <p>～ 委員長挨拶途中、篠原委員到着 定例会へ参加～</p> <p>会議録承認</p> <p>委員長 会議録の承認について諮る。平成26年第11回定例会会議録案について、事務局より説明を求める。</p> <p>高橋副課長(教総) 平成26年第11回定例会会議録案の概要を説明する。</p> <p>委員長 平成26年第11回定例会会議録案の承認について諮る。</p> <p>全委員 承認する旨答える。</p>
--	--

四国中央市教育委員会会議録

<p>委員長</p>	<p>承認の旨確認し、平成26年第11回定例会会議録の原案を承認する旨宣する。既に指名の委員には、それぞれ後ほど会議録に署名を願う。</p>
<p>委員長</p>	<p>会議録署名委員の指名 平成26年第12回定例会会議録署名人に、近藤達之介委員、鈴木千明委員を指名する。</p>
<p>委員長</p>	<p>報告事項 諸般の報告を求める。</p>
<p>教育長</p>	<p>教育委員各位、教育委員会事務局各位には、本年中、大変お世話になった。委員長より本年を振り返る報告があったが、その中でも STAP 細胞の件は非常に心が痛んだ。論文のねつ造・改ざんは許されることではないが、一つには研究者の勘違いもあったのではないかとと思っている。初めからできないと分かっていたら、検証実験を諦めていたはずである。援護する訳ではないが、カメラ及び監視員を配置し監視体制の下で、犯罪人扱いしたような形で検証実験を行わせたことは、許されることだろうか。敢えて検証実験を行ったことからすると、希望を持っていたのではないかと思われる。責任者のチームリーダーも後に、「このように犯罪人扱いをしたような形で科学の行為を検証するという事は、科学にあってはならないことだと思っている」と反省のコメントを残している。問題があったものの、科学者として今後も頑張っていたらいいと思っている。</p> <p>県の学力テストの結果を受け、本市の子どもたちが着実に学力を身に付けていることを感じ嬉しく思った。地道な取り組みの中で本来の教育を行い続けることが大切で、学力調査結果を非公開としたことを含め本市の取り組みは正しかったと思う。先日、「えひめこども新聞グランプリ」の表彰式に出席したが、最高賞のグランプリ賞に本市から4名もの子どもたちが選ばれた。そのような中、県教育長、義務教育課長が私に近づき、お褒めの言葉をいただいた。こうした実績を残して行く中で、県も本市の取り組みを徐々に認めてくださっていることを感じ嬉しく思った。これも学校及び教育委員会事務局で色々と模索しながら頑張っていたらいい成果が出てきたのではないかと思う。</p> <p>その他、各課の諸行事については特別に私から申し上げることはなく、各課からの報告の後ご審議いただきたい。</p> <p>～教育長挨拶途中、近藤委員到着 定例会へ参加～</p>
<p>委員長</p>	<p>各課から事務報告を求める。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>教育総務課所管の教育総務・学校管理・学校施設に関し、資料に基づき事務報告する。</p> <p>12/3 12月定例市議会が開会し、19日までの日程で行われている。教育委員会関連では、議案1件と11月の教育委員会定例会でご意見等をいただいた一般会計12月補正予算案について原案どおり議決いただいている。また、一般質問・答弁内容については、後ほど教育部長より報告がある。</p> <p>12/12 教育厚生委員会が開催されたが、本議会より委員の交代があっ</p>

四国中央市教育委員会会議録

<p>鈴木補佐（給食）</p>	<p>た。</p> <p>なお、学校施設耐震化の状況だが、本年度15棟発注しており年度末には耐震化率90%になる見込みである。また、12月補正にて7棟が予算化されており、残り3棟についても3月補正ないし来年度当初予算にて計上予定なので、新宮小・中学校を除き耐震化は平成27年度中に完了予定である。新宮小・中学校については、現在発注している解体工事が進められており、木造校舎が半分ほど解体されている状況である。</p> <p>学校給食センターについては、昨日、市議会議員に対して進捗の説明会を行った。その後、市長が臨時の記者会見を行い、その中で学校給食センターの方向性についての言及があった。</p> <p>続いて、学校給食に関し、資料に基づき事務報告する。</p> <p>12/22 三島地域野菜部会が行われた。その中で、視察研修させていただいた大洲市の事例を野菜農家の方に紹介し、野菜生産が更に向上するよう依頼している。</p> <p>なお、これまで経験のない事態となったのだが、12/17、当市に暴風雪警報が発表され、各学校ともに休校となり給食を中止している。また、翌日には新宮地域が路面の凍結のため、福祉バスが運行されなかつたり業者が物資を搬送できなかつたりで、新宮小・中学校及び新宮幼稚園の給食を中止している。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>学校教育に関し、資料に基づき事務報告する。</p> <p>12/5 川之江北中学校で、愛媛県英語コミュニケーション能力育成事業研究発表会が開催された。東予管内の英語教員が参加し、小・中・高の連携を図った英語教育についての研究発表が行われた。</p> <p>12/10 三島南中学校で、ものづくり体験講座発表会が行われた。これは、公益社団法人紙パルプ工業会が主催しており、三島南中学校の1年生が、製紙会社の関係者や研究者による講習会、製紙工場見学や水引体験などの講座を受講し、その内容について発表する会で、紙産業への興味や関心を促す内容が発表された。</p> <p>12/25 本日、幼・小・中学校2学期終業式を無事迎えている。</p>
<p>石井所長（少年）</p>	<p>少年育成センターに関し、資料に基づき事務報告する。</p> <p>今月は冬休みを迎えるにあたり、12/3の小富士地区を皮切りに12/19まで各地区において補導委員会や健全育成委員会が開催され、警察・PTA・教員各位にて2学期の反省や冬休み期間中の地域の実情に合った取り組みを協議している。少年育成センターにおいても下校時間に合わせた巡回や青パト合同パトロールを強化し、冬休み期間中は、小・中学生の帰宅を促す市内放送（午後5時）を予定している。</p> <p>「宇摩の子の誓い」の進捗状況だが、検討委員会において提言書案の実現に向けた取り組みについてご意見をいただき現在修正を行っている。修正後、再度内容について協議し、提出に向け調整を行う予定である。</p> <p>市内で発生している不審者情報について、10/21以降配信していなかったが、12月に入り、続けて4件の配信を行っており、今年度の合計配信件数は33件となった。年末に向け各地区に警戒の強化をお願いしている。</p> <p>また、コンビニで発生した露出事件については県外の犯人が検挙されており、これで今年度の犯人検挙連絡は2件となっている。</p>

四国中央市教育委員会会議録

<p>生涯学習課長</p>	<p>生涯学習課所管の社会教育・社会体育・人権教育に関し、資料に基づき事務報告する。</p> <p>12/5に太陽の家職員、12/8に妻鳥公民館サークル、12/12に北保育園職員・みしま乳児保育園職員、12/19に三島税務署職員、12/20に小富士公民館サークル等と人権・同和教育研修会を実施し、各団体における人権・同和教育の推進を図っている。</p> <p>12/5、9、13、15 地域改善対策奨学金訪問を行っている。この事業は、昭和41年から給付事業として始まったものだが、昭和57年に大学が、昭和62年には高校が貸与となり返還義務が生じるものとなった。県の委託事業として市にて回収事務を行っているが、毎晩のように貸与関係者からの問い合わせ等があり、その対応に職員が時間外にも関わらず追われている状況である。</p> <p>12/16 市連婦人会に加盟していない婦人会補助金見直し説明会を開催している。市連婦人会には160万円の補助をしているが、その中から各下部組織に35万円ほど補助金が流れている。それを廃止する旨の同意を得ている。</p> <p>12/21 市発足10周年記念のファイナルイベントとして四国中央市綱引き大会を土居総合体育館にて開催した。圧巻だったのは、プロのクラブチーム4名対今大会優勝した川之江公民館8名で綱引きを行ったがプロのクラブチームが勝利を収め感動を呼んだ。</p>
<p>国体推進課長</p>	<p>国体推進課所管事務に関し、資料に基づき事務報告する。</p> <p>12/8 国体PR壁画（寒川漁業協同組合）落成式が行われた。この壁画は、寒川漁協のご協力をいただき、倉庫の壁を利用し、三島南中学校美術部の生徒らの手で描かれた、えひめ国体を啓発するものである。今後、こうした形の国体啓発活動を特に大切に行きたいと考えている。</p> <p>12/16 長崎国体報告会（本市開催種目）のため長崎市・諫早市を訪れた。これは国体開催地が、開催内容について後ろ5年間開催される各市町を集め実施内容等の詳細について意見・情報交換、連携を行い国体の成功を図るためのものである。</p>
<p>文化図書課長</p>	<p>文化図書課所管の文化振興・図書館に関し、資料に基づき事務報告する。</p> <p>12/14 JR四国のご協力で徳島駅クレメントプラザ徳島にて三島高校、鳴門高校の2校による書道パフォーマンス甲子園PRイベントを実施した。観客も黒山の人だかりとなりJRでも好評を得、本日お礼に来ていただいた。次は北陸や大阪駅等で実施いただきたいとの依頼もあるので今後検討して行きたい。</p> <p>12/15 ふれあい大学の平成27年度事業を検討する企画会議を開催している。これについては、事務局案をまとめ1月に再度開催することとなった。</p> <p>12/18 第8書道パフォーマンス甲子園実行委員会を開催し、募集要項を審議いただき先日22日にインターネット等にて公開している。</p> <p>続いて図書館関係について資料のとおり報告する。</p> <p>色々な行事を開催し、図書の貸し出しや来館につながるように等、利用促進を図っている。</p>
<p>委員長</p>	<p>只今の教育長及び各担当からの報告について、意見質問等がないか問う。</p> <p>臨時記者会見での学校給食センターの方向性について、市長はセンター方</p>

四国中央市教育委員会会議録

	式に言及されたのか。
教育総務課長	お見込のとおりである。
委員長	市議会議員に対しての学校給食センター進捗の説明会では、なにか質問を受けなかったのか。
教育総務課長	あくまで説明会であり、本案件を含めた8件ほどの案件について説明があったのみである。
委員長	他に意見質問等ないか問う。
篠原委員	先ほど話が出た暴風雪警報について、市内の高校で暴風雪警報は非常変災時の対応マニュアルに記載がないとのことで、生徒を登校させた学校があったようである。結局、登校できない生徒がいたり、周りの学校も休校していたため登校していた生徒を帰宅させたりしたとのことである。たとえ対応マニュアルに記載がないとしても状況に応じた対応が必要であり、子どもの安全が第一であると感じた。本市については、先日の暴風雪警報の際、幼稚園から中学校全て休校にしたことを聞いて安心している。暴風雪で何か話し合われたことがあるか聞きたい。
学校教育課長	平成23年度に作成したマニュアルの中で、波浪警報を除く警報が一つでも出された場合、教育委員会所管の幼稚園、小・中学校は、午前6時～登校の時点での発表であれば自宅待機、午前8時までに、警報が解除されなければ臨時休業と決め各校で対応している。(篠原委員了解)
委員長	他に意見質問等ないか問う。
篠原委員	中学校区の件だが、保護者の間では校区境界にグレーゾーン(どちらの中学校を選んでも構わない)と呼ばれるものがあるようだ。実際、校区境界に住まわれている方から相談を受けたが、その方もグレーゾーンがあると勘違いされていた。石津指導監から校区は規約により決められていることを伺っていたので、グレーゾーンはないことを説明し納得してはいただいた。また、別の地区では、子ども同士の間で校区の関係なしに教育委員会に相談すれば、どの中学校にでも通えるとの話が出ているようだ。例えば部活動や友だちが大勢いるから等の理由で学校を自由に選べると勘違いしているようである。
学校教育課長	小学校から中学校に進学する際、同じ小学校区の中で複雑な地区割りとなっている場合があり、ごく一部がグレーゾーンのように思われている学校もあるようだが、実際は区割りが決められている。確かに篠原委員がおっしゃったように、子どもからある理由でこの中学校に通いたいと言われると、保護者はそれを聞き入れたいと思う構図ができてしまう。確かに過去には、相当な理由があり区域外就学規程を弾力的に扱ったケースもあるようで、不登校予見等の事情のために区域外就学を承認せざるを得ない場合がある。問題となるのは、いじめによる不登校予見などではなく、仲が良くないから同じ学校に進学した場合に不登校になるかも知れないといった不確定的な案件

四国中央市教育委員会会議録

	<p>や、小学生ならばともかく、中学生にもなるのに家に帰っても保護監督者がいないからとの理由で区域外就学申請が上がるケースかと思う。今のところこうした案件は、正式に受理していないのだが、仮に、こうした案件を含め全てを認めてしまえば、生徒数が偏り、突然に一方の中学校で教室が足りないという予見し得ない状況が生じかねない。また、就学通知書を出した後の異動となれば、必要な教室の改修さえ間に合わないこととなりかねない。現状、教育委員会が最終的に区域外就学を決定することになるが、それには校長の意見書が必要である。こうした懸念を受け来年度以降、必要としている在学校長の意見書のあり方を含め、区域外就学については、更に厳密な基準を設けて対応して行く方向で考えているので、教育委員各位には改めてご相談申し上げたい。</p>
鈴木委員	<p>私を知る小学校でも一部中学校区が分かれているため、その当該保護者が心配されているとの話を聞いたことがある。以前、小学校で進学説明会を聞いたことがあるが、それ以外で中学校区について説明されることがなかったのではないかと思う。実際、中学校区については進学前の小学校のうちに知りたいことなので、そのための詳しい説明があれば良いと感じた。</p>
学校教育課長	<p>小学校の先生方も移動があるので、新任の際は厳密な中学校区が分からない場合もあるかも知れない。進学説明会等で聞いても厳密に中学校区が分からない場合は、教育委員会に問い合わせただければ担当より詳しくお答えできるし、今もそのようにさせていただいている。そうした情報を広くお伝えできていないことは反省している。</p>
鈴木委員	<p>当該保護者で、そのように問い合わせた方は校区に関してよくご存じかと思うが、それにあまり関知していない保護者の中には、グレーゾーンがあると認識されている方もおられるようだ。保護者全体が正しく認識できるよう知らされれば、混乱もないと思われるのでご検討いただきたい。</p>
篠原委員	<p>子どもたちの間で区域外就学について、具体的な方法を挙げ安易に話されている様子を見て問題と感じた。区域外就学について、校長の意見書が必要等、安易に行えないことを聞いて安心したが、以前に比べ区域外就学に関する話をよく耳にする。対応の方よろしく願います。</p>
教育長	<p>区域外就学については、非常に困っている。他校区に保護監督者がいれば、その中学校に簡単に行けると勘違いされている方も多い。家に帰って保護監督者がいないと困るのは小学生低学年であって、中学生にもなって考え難いと思っている。その辺りをハッキリさせなければ、中学校の学級数が減あるいは増となり、深刻な教室不足等の問題が現実的に起きかねない。まずは子どもたちの状況を一番よく知っている学校側で、校区について保護者に十分説明する必要があると思う。無論、不明点があれば教育委員会に問い合わせさせていただければよい。学校選択制のように思われては困るので、しっかりと歯止めをかけなければならない。</p>
近藤委員	<p>近隣他市では、部活動で学校を選べると聞いている。</p>
教育長	<p>近隣他市でそのように校区の枠を外していたようだが、問題があり見直さ</p>

四国中央市教育委員会会議録

	れるようだ。
委員長	校区の枠を外してしまうと、ある学校に生徒が集中し、ある学校は生徒が減少するという問題は避けられない。
教育長	校区境に住まわれている方によっては、他校区の学校の方が随分近い場合もある。校区の線引きについては今後検討の余地があるかも知れない。
篠原委員	以前に、ある中学校の場所が変わったが、校区の線引きは変わってないように思う。学校からの距離だけを考えれば、校区の線引きを見直す必要もあると思うが難しい問題である。
学校教育課長	確かに、教育長、篠原委員がおっしゃられたことは一理あるが、学校を建築・改築する場合は、その校区の10～30年先の生徒数推移を考慮し、それに対応する校舎を建築している。校区の線引きを変えてしまうと、想定している生徒数と異なり、学級数の増減に関わる問題が生じるかも知れない。校区の線引きを見直す必要があるのだが、学級数の増減も含めて検討しなければならない。
教育長	<p>子どもの側から考えれば、近くの学校に通える方がよい。これは、現実的な問題として検討しなければならない。ただ、単純に校区の線引きを考えるより、学校の統廃合を検討する時代に入ってきている。その点を含め勘案しなければならない。</p> <p>区域外就学について厳密に規定したとしても、例外的な扱いを盾に取り納得していただけない方もいるのではと懸念している。</p>
篠原委員	<p>例外的に扱われた事例等は、その保護者を介してすぐに他の保護者たちに広まってしまう。</p> <p>難しい問題ではあるがよろしく願います。</p>
委員長	他に意見質問等ないか問う。
教育長	「宇摩の子の誓い」について市長への提言をいつ行うことになっているのか報告を求める。市長も関心を示されているところだ。
石井所長（少年）	1月を予定している。
教育長	本年は、不審者情報が少ないように思うがどうか。
石井所長（少年）	昨年は、60件と過去10年で最高数だった。それ以前は、年間40件前後で推移している。昨年は、駅周辺での同一犯による件数が多かった。本年は、去年に比べ少ないが、それ以前と同様の件数である。
教育長	コンビニ露出事件で検挙された犯人は、他市から来ていたのか。
石井所長（少年）	お見込のとおり他から来ていた。そのことが検挙に時間がかかった要因の一つであったようだ。

四国中央市教育委員会会議録

委員長	他に意見質問等ないか問う。
鈴木委員	新春競書大会に他市からの参加を呼びかけるため、どのような広報をしているのか。大会のポスターを掲示するだけでは参加を募れないかと思うがどうか。
文化図書課長	基本的には、「四国まんなか協議会」の繋がりを伝に、関係各市の教育委員会にお声掛けいただいている。今年に関しては、教育長にご同行いただき、先方の教育長と会談し、ご理解をいただいた上で学校や書道教室にお声掛けいただいている。ポスターだけではなく、何回か先方に足を運んで参加を促す形をとっている。
近藤委員	新春競書大会のポスターは先方各市にも配布しているのか。
文化図書課長	お見込のとおりである。
委員長	他に意見質問等ないか問う。
近藤委員	地域改善対策奨学金訪問とは、どのようなことを行うのか。
生涯学習課長	当初、給付方式であった地域改善対策奨学金が、貸与方式に変わり返還義務が生じたことを十分にご理解いただけていない場合があり、その説明を行うことや返還をお願いするものである。 問題なのは、親がその奨学金を借りた際に子どもに事情を知らせておらず、いきさつを知らない子どもに返還をお願いした場合、初めてその子どもが周辺事情を知り、命に関わる事案が発生するというケースが全国的にはあることである。そのため連絡を取る場合でも繊細な配慮が必要な事業である。
近藤委員	住宅新築資金貸付事業と同じようなものか。
生涯学習課長	趣旨が大きく異なると認識している。
近藤委員	債権は何処が持っているのか。市が持っているのか。
生涯学習課長	市ではなく県である。県の委託事業として市にて事務作業を行っている。
委員長	県から委託費をいただけるのか。
生涯学習課長	委託金をいただいているが、実務内容に見合う額なのかは疑問だと思う。
近藤委員	市の職員がそれだけ労力を費やし行われていることは大変なことと思う。
委員長	残貸与件数は多いのか。
生涯学習課長	お見込のとおりである。三島・川之江・土居・新宮の市内全地域に貸与者

四国中央市教育委員会会議録

委員長	<p>がいる。</p> <p>給付ということで受けたのに、いきなり貸与に変わって納得の行かない方も当然おられると思う。</p>
近藤委員	<p>何故この事業を教育委員会で受け持っているのか。奨学金だからなのか。</p>
高橋副課長(教総)	<p>規則上、市長から教育委員会教育長に対する事務委任事項とされている。</p>
生涯学習課長	<p>いずれにしても細心の注意を払って事務に取り組みたい。</p>
委員長	<p>ご苦勞ではあるがよろしく願います。 他に意見等ないか問い、次に移る。 本日は提案された「議案」がないため、「その他の案件」に移る。</p>
委員長	<p>その他 「12月市議会一般質問要旨及び答弁書（教育委員会関連分）について」の説明を事務局に求める。</p>
教育部長	<p>「12月市議会一般質問要旨及び答弁書（教育委員会関連分）について」、資料に基づき概要を説明する。12月市議会一般質問については、14名の市議会議員より質問があったが、教育委員会関係はその内6名の議員より質問を受けた。</p>
委員長	<p>只今の説明に、意見質問等ないか問う。 意見質問等ない旨確認し、続いて「公の施設の指定管理者の指定について」の報告を事務局に求める。</p>
文化図書課長	<p>11月の定例教育委員会において、公の施設の指定管理者の候補者選定についてご決定いただいていた件に関して、12月市議会に提案し議決いただいている。この議決を受け、指定の（教委）告示を早急に行いたいと考えている。なお、この告示に基づき年明け早々にNPO法人紙のまち図書館に対して、指定通知書を交付する流れで事務作業を進める予定である。協定書の取り決めと事業内容の精査については、1月末を目指して事務を進めているところである。</p>
委員長	<p>只今の報告に、意見質問等ないか問い、意見質問等ない旨確認する。 以上で、本日日程に示された案件は終了した旨を宣する。 その他に報告事項等ないか問う。</p>
教育総務課長	<p>次回定例会の招集を願う発言。</p>
委員長	<p>次回、教育委員会第1回定例会を平成27年1月27日（火）午前9時30分から、本庁5階第1委員会室に召集する。 その他に報告等ないか問う。</p>
高橋副課長(教総)	<p>平成26年度教育委員会の点検評価報告書については、先般、教育委員各位</p>

四国中央市教育委員会会議録

<p>委員長</p> <p>委員長</p>	<p>にご承認いただいた内容で12月市議会の最終日（12/19）に市議会に対して報告、議場配布させていただいたのでご報告申し上げます。</p> <p>その他に報告等ないか問い、報告・意見等ない旨確認する。</p> <p>閉会 午後4時30分、閉会を宣する。</p> <p>以上、会議の顛末を記録し、その真正であることを認め、署名する。</p> <p>教育委員会会議録署名人</p> <p>四国中央市教育委員会 委員</p> <p>四国中央市教育委員会 委員</p> <p>会議録作成者 教育総務課 星川 直子</p>
-----------------------	---